

前

国

語

人間文化学部

生活デザイン学科

人間関係学科

国際コミュニケーション学科

地域文化学科

(60 分)

(90 分)

注 意 事 項

1、解答開始の合図があるまで、この問題冊子および解答冊子の中を見てはいけません。

また、解答開始の合図があるまで、筆記用具を使用してはいけません。

2、問題は3題で、14ページありますが、志望する学科によって解答する問題が異なるので注意しなさい。指定されていない問題を解答しても採点しません。

3、生活デザイン学科・人間関係学科・国際コミュニケーション学科を受験する者は、第1問・第2問を解答しなさい。地域文化学科を受験する者は、第1問と第3問を解答しなさい。

この注意事項は、問題冊子の裏表紙に続きます。問題冊子を裏返して必ず読みなさい。

- 4、解答開始後、解答冊子の表紙所定欄に受験番号、氏名をはっきり記入しなさい。表紙にはこれら以外のことを書いてはいけません。
- 5、解答は、すべて解答冊子の指定された箇所に記入しなさい。解答に関係のないことを書いた答案は無効にする場合があります。
- 6、解答冊子は、どのページも切り離してはいけません。
- 7、試験終了後、問題冊子は持ち帰りなさい。解答冊子を持ち帰ってはいけません。

第1問

次の文章を読んで、後の問い（問1～4）に答えよ。

山田圭一『フェイクニュースを哲学する―何を信じるべきか』(岩波書店、二〇二四年)より一部改変

注

H・G・フランクファート……哲学者

R・ジャスター……哲学者

L・ワイトゲンシュタイン……哲学者

問1 傍線部ア、オのカタカナを漢字に直せ。楷書ではつきりと書くこと。

問2

A

と

B

には本文中で用いられている語が入る。それぞれに該当する語を本文中からそのまま抜き出して答えよ。

問3 傍線部①「そこでヒントとなるのがL・ウイトゲンシュタインが提示した「家族的類似性」とあるが、筆者はなぜフェイクニュースを「家族的類似性」という概念によつて捉えるのがよいと考えているのか。本文中の表現を用いて

一二〇字以内で説明せよ(句読点を含む)。

問4 本文の内容に合致するものを次の中からすべて選び、番号で答えよ。

1 フェイクニュースは広い意味においては新聞などの誤情報も含むものであり、相手を欺く意図で拡散されている偽の情報である。

2 フェイクニュースには必ず他人を欺く意図が隠されているが、それを見抜くことが困難であるため、現代的な課題となっている。

3 発信者は真偽を問題にしようとしているのではなく、ただ単に相手を批判するためにフェイクニュースという語を利用する場合がある。

4 フェイクニュースの中にはそもそも発信者が真偽に関心をもたないものもあるが、誤解を誘導する意図があるものが大半を占めている。

5 フェイクニュースを真実性や正直さが欠如していると捉えるのではなく、本物のニュースをまねているものであるとする立場もある。

6 フェイクニュースをニュースや伝達媒体という点から定義しようとするものもあるが、現代社会にしかあてはまらないため、不十分である。

第2問

次の文章を読んで、後の問い(問1～2)に答えよ。

黒井千次『働くということ』（講談社、二〇一九年第四五刷（一九八二年第一刷）より一部改変

注 国鉄……日本国有鉄道。一九八七年に分割民営化されてJR各社となった。
禄……給与。

問1 傍線部①「その学生に質問の真意が汲みとれなかったのは無理もない」のはなぜか。本文中の表現を用いながら一一〇字以内で説明せよ(句読点を含む)。

問2 傍線部②「ぼくはようやく仕事が自分の中にはいりこんでくるのを感じるようになった」とはどういうことか。仕事に対する「ぼく」の意識の変化に着目して、本文中の表現を用いながら一八〇字以内で説明せよ(句読点を含む)。

第3問 次の文章は『十訓抄』の一部である。文章を読んで、後の問い(問1～7)に答えよ。

後冷泉院御位の時、天狗あれて、世の中さがしかりけるころ、西塔に住せる僧、あからさまに京に出て帰りけるに、東北院の北の大路に、童部五六人ばかり集まりて、ものをうち接^り接^りけるを、歩み寄りて見れば、古鵲^{むす}のよにおそろしげなるを、しばらくがめて、すはえにてうつなりけり。「あな、いみじ。などかくはするぞ」といへば、「殺して、羽取らむ」といふ。この僧、慈悲をおこして、扇をとらせて、これを乞ひ請けて放ち遣りつ。

「ゆゆしき功徳^イつくれり」と思ひて行くほどに、切堤^{きつづみ}のほどに、やぶより、ことやうなる法師の歩み出でて、遅れじと歩み寄りければ、けしきおぼえて、かたかたへ立ち寄りて、過ぐさむとしける時、かの法師、近寄りていふやう、「御憐み蒙りて、命生きて侍れば、その悦び聞えむとて」などいふ。僧、立ち返りて、「えこそおぼえね。たれ人にか」と問ひければ、「さぞおぼすらむ。東北院の北の大路にて、からきめ見て侍りつる老法師に侍り。生けるものは、命に過ぎたるものなし。かばかりの御志には、いかでか^エ報^へず・申す・ず・む」。なにごとにても、ねんごろなる御願ひあらば、^オ「ことかなへ奉らむ。おのれはかつ知らせ給ひたるらむ、小神通^{しんづう}を得たれば、なにかはかなへざらむ」といふ。

「あさましく、めづらかなるわざかな」とむつかしく思ひながら、こまやかにいへば、「やうこそあるらめ」と思ひて、「われはこの世の望み、さらになし。年七十になれたれば、名聞利欲^{みやうもん}あぢきなし。後世こそおそろしけれども、それは、いかでかなへ給ふべきなれば、申すに及ばず。ただし、釈迦如来の靈山にて、説法し給ひけむよそほひこそ、めでたかりけめと思ひやられて、朝夕、心にかかりて見まほしくおぼゆれ。そのありさま、まなびて見せ給ひなむや」といふ。

注 後冷泉院御位の時……御冷泉天皇の在位中（一〇四五～一〇六八年）。

西塔……比叡山延暦寺の三塔の一つ。

東北院……京都の寺。

棲す……思いのままに、いたぶり、なぶる。

鶏……ワシタカ科の鳥。

すはえ……細い木の枝。

切堤……道を切りひらいたためにできた両側の堤。

神通……不思議な幻術の力。

名聞……名声、名誉。

問 1 傍線部ア「あな、いみじ。などかくはするぞ」を現代語訳せよ。

問 2 傍線部イ「功德」の読みと意味を、それぞれ記せ。

問 3 傍線部ウ「からきめ見て侍りつる老法師に侍り」の「老法師」は、文章中にさまざまな名称で登場する。次の選択肢の中から「老法師」に該当するものをすべて選び、番号で答えよ。

- | | | | | | |
|---|------|---|----|---|------|
| 1 | 後冷泉院 | 2 | 僧 | 3 | 童部 |
| 4 | 古鶏 | 5 | 法師 | 6 | 釈迦如来 |

問 4 傍線部ウ「からきめ見て侍りつる老法師に侍り」を現代語訳せよ。

問 5 傍線部エ「報ず・申す・ず・む」のそれぞれの語を、この順で正しく活用させよ。

問 6 傍線部オ「一ことかなへ奉らむ」という発言に対して相手は何を望んだのか、現代語で記せ。

問 7 『十訓抄』は、鎌倉時代中期の説話集である。次の作品の中から説話集をすべて選び、番号で答えよ。

- | | | | | | |
|---|-----|---|-------|---|------|
| 1 | 沙石集 | 2 | 古今著聞集 | 3 | 平家物語 |
| 4 | 方丈記 | 5 | 古今和歌集 | 6 | 無名草子 |